



5年ぶり 萩の郷ふれあい広場

ふれあい広場には75歳以上のみなさんを招待し、約70人が出席しました。はじめに敬老式典で長寿祝いの贈呈を行い、出席者を代表して福島壽子さん(6区)が「これからも明るく楽しく生きていきましよう」と謝辞を述べました。

日本遣・喇叭を皮切りにステージの出し物が山十夢さん(豊丘村)の「とむ&コモ太のモンキー・パフォーマンス(猿回し)」は拍手喝采でした。毎回参加している高森ニューサウন্ズの楽しい演奏、ナープアアオハワイのフラダンス、小椋恵さん(1区)の日本舞踊と続き、最後は全員で唱歌「ふるさと」を歌いました。

8月初めにコロナ感染者が増加したため、参加者が高齢だということも考慮して祝宴は行わず、お土産に紅白まんじゅうと赤飯を持ち帰っていただきました。

9月末現在、下市田区の75歳以上は820人、最高齢は100歳（1区の女性）となっています。



区の情勢について

下市田保育園の改修進む

区長 北沢文治

昨年に続き7月27日に「萩の郷夏祭り」を開催、午後から夕立があり天候が心配されましたが、ほぼ予定通り実施できました。今年度は下市田保育園、認定こども園ばどまに加え、高森あかり保育園にも初めて参加していただき、より賑やかな夏祭りになりました。

9月29日には下市田区内

の75歳以上の皆様を招待して、5年ぶりに「萩の郷ふれあい広場」を開催し、70名程の皆様にご参加いただきました。新型コロナウイルス感染症の終息が見えないなか、祝宴は中止、時間も短縮しました。また昨年までと同様、米寿88歳、卒寿90歳以上の皆様には長寿祝いを

お贈りしました。

今後は10月26日開催の「高森ふるさと祭り」で、お汁粉の無料提供を行う予定です。区民の皆様、是非お出掛けください。

9月1日の高森町総合防災訓練は台風のため中止となりましたが、南海トラフ地震が心配されます。地域の皆様には普段から隣近所とのコミュニケーションをとっていただくと共に、地震や災害に対する十分な備えをお願いします。

今年度の山作業・堤の草刈り作業は、皆様にお伝えしていますように、専門の業者に委託する形で、それぞれ2回が済みしました。

下市田保育園の改修は、床や壁、天井などが撤去され、現在は屋根と柱だけが残っている状況です。これから耐震補強をしながら新しい間取りで壁などができていきます。来年2月末に完成の予定です。

この他には夕映え道路先の南大島川に計画されている橋梁下部工の工事着手、国道153号出砂原交差点

時代の変化に対応し将来に向けて 運営委員会で改革改善検討

副区長 光沢金良

時の流れと社会の変化がますます激しいなかで、下市田区では運営委員会をこの春より発足させ活動しております。「下市田区の組織、インフラ、収支、規程等について、変化に対応し、将来に向けての改革改善を住民本位で進める」ことを目標に、区長などの経験識者、自治会長、委員長、支

館三役、区三役で構成しております。

現在は区の自治会加入率が54%となるなかで、▽第1部会「子供若者などの参加による活性化・加入促進」、▽第2部会「自治会・常会・委員会の再編」をテーマに大小の委員会開催を重ねて参りました。小さい事でもできる事を少しでも



運営委員会の第1回会合

も変えながら改善を積み重ねていきたいところです。

これらの検討に当たっては、内外を問わず多方面の

皆様との交流・協働によって知恵や力を得て進めて参りたいと考えておりますので、区民の皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。

委員のみなさん

委員は区三役、自治会長6名、委員長5名、支館三役と次のみなさん。

▽経験識者 杉田洋一、久保田正博、吉田正治、福沢千恵子、田口康子

▽役場職員 多田井素、清水衆、菅沼まなみ

区民会館駐車場 白線を引き直す



ローラーで塗料を塗り直す

では改良計画が県より提示されています。関係の皆様のご理解ご協力をお願いします。

9月21日、区民会館駐車場の白線を引き直す作業を行いました。区三役と代議員を中心に、支館三役、分館長・分館主事、支館部員の有志も加わり約20人で実施。草を取り土砂を竹ぼうきで掃いて、ローラーで塗料を塗り直しました。作業は順調に進み30分足らずで完了。消えていた白線が元通りになり、安心して駐車できるようになりました。

1区ふれあいサロン 該当者アンケートもとに企画

自治会長 佐々木 順一

下市田1区のふれあいサロン（以前は敬老祭）は6月22日、積善会館にて開催しました。

時間を過ごしました。

①下沢洋子さん（塚越常会）による「紙芝居とことば遊び」、②畑中陽子さん（出原）の健康体操、③中川雄之助さん（唐沢常会）の「尺八演奏と歌」の演目で、45人の方々が集まり楽しい

毎年2回開催していた「ふれあいサロン」でしたが、コロナの影響で5年間開催できませんでした。実施に向け、実行委員であるお助けマン4人、民生児童委員3人、自治会三役の10人で企画会議を開き、最初に該当者約180人に対しサロンの内容・催し物・飲

食等のアンケートを直接訪問して伺い、そのアンケート集計を基に企画をまとめ、チラシを作成。そのチラシを持参して該当者宅を訪ね、内容の説明をして参加をお願いしました。

サロン当日は天候もよく、参加者からは、地域の同年配の方々が元気に演技や活動する姿を見て、家から一歩出ることが大事と感じ、「今度は友達を誘ってくるね」と笑顔で話されていました。

実行委員とボランティア



みんな集まり楽しいひと時

の皆さんのたゆまぬ熱意で該当者宅を訪ね、直接対話したことが参加者の喜びの大きな要因と感じました。

いと話していました。
今年度は来年2月に第2回防災研修会を予定しておりますので、区民の皆様には是非参加をお願いいたします。

区民会館の裏に 新しい防災倉庫

下市田区は今年度、区民会館の裏に新しい防災備蓄倉庫を設置しました。

市町村振興宝くじ交付金の助成を受けて実施。8月に完成し、9月21日の災害対策委員会の際に委員にお披露目しました。倉庫の中にはテント、発電機、リヤカー、シヨベル、防災用ヘルメット、LEDライトなどを収納しています。



新しい防災備蓄倉庫

令和6年度第1回防災研修会 大雨や大地震への備えを

防災委員長 仲平 豊実

今年度第1回の防災研修

会を9月21日、区民会館で開催しました。飯田ボランティア協会理事長の大蔵正明氏（高森町防災アドバイザー）を講師に迎え、自治会役員、常会長、消防団幹部など災害発生の初期に避難所の開設、安否確認などを担う重要なポジションの約60人が参加して防災リー

ダー研修を行いました。

大蔵氏は能登半島地震の被災地にも災害ボランティアとして入っており、初めに被災状況や避難所の様子を写真で紹介しました。

海水温の上昇で水蒸気が多く発生し、今後は大雨が降り易くなり線状降水帯の発生も地域を限定せずに何処でも災害のリスクが高

まっているなど、この地域にも危険が差し迫っている事を感じました。

地震も同様で、8月には



防災リーダーが災害の備え学ぶ

南海トラフ地震臨時情報が初めて出されましたが、東海地震、東南海地震、南海地震はいつ起こってもおかしくない状況で、同時に発生すると高森町でも最大で震度6弱の大きな揺れが想定されています。

大蔵氏は大雨などの時に「大丈夫」と思ってしまう正常性バイアスを断ち切って早めに避難することを呼びかけ、環境が最悪な体育館に避難するより、親戚や知人の家などに分散避難するように決めておく方が良

4区分館

新規加入者も参加

分館長 玉置淳一

6月に予定していた4区の夏季スポーツ大会&焼き肉親睦会は雨のため8月25日に延期して行いました。夕立の心配はありませんでしたが、幸い終日降られることなく、猛暑も和らいだ中で、予定通り後半の焼き肉親睦会まで開催できました。

種目は、屋外はスローピッチソフトボール(17名参加)、屋内では囲碁ボールとモルック(24名参加)を行いました。希望者のみの参加でしたが、年代層も小さな子どもさんから高齢者まで幅広く、新たに4区に越してこられた方の参加も



恒例の夏季スポーツ大会



新規加入者も参加して

あり盛り上がりしました。焼き肉親睦会ではスポーツ大会に不参加の方も加わり、47名の参加者を得て杯を交わし、4区の親睦が深まる会となりました。

6区分館

モルックで親睦

分館長 中垣裕彦

去る6月16日に下市田6区常会対抗親睦モルック大会を開催しました。

これまで常会対抗としてはマレットゴルフ大会を行っていましたが、小さなお子様からご年配の方まで楽しめそうな競技を行おうと考え、今回は初の試みとしてモルック大会を行いました。

5区分館

おいしい、お茶だに

分館長 小川喜也

5区では6月16日に「おいしい、お茶だに」を開催しました。お年寄りから小学生まで68名の参加で、皆で「遊び」をしました。

おいしいよの会は電子ピアノの伴奏で歌を歌い、小学生はジェスチャーゲームをしてくれました。双葉会の若者達はグループ対抗のボール運びゲームで盛り上げ、五んべえ倶楽部の皆さんはそばがき作りを計画して、小学生にとっては初そ

した。

大会開催に際し、高森中



盛り上がったモルック大会

学校にボランティアの募集を行ったところ、3名の女子中学生に来て頂き、大会運営にご協力いただきました。円滑な大会運営にご協力頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

モルックは木の棒を倒し得点を競う軽スポーツですが、皆さま初めての方が多く、初めはぎこちなかった投げ方も試合を重ねるごとに大胆になり、スキットルと呼ばれる倒される棒があ



小学生がジェスチャーゲーム

ばがき体験でした。締めくくりは恒例のビンゴ大会で、地元の企業の協力で多くの景品が集まり、好評のうちに終えました。終了後、昨年できなかった



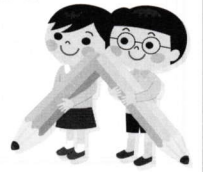
子どもからお年寄りまで集まって

た飲食を伴った懇親会をして、大勢の地域の方の参加で楽しく過ごせ、このような交流の機会が必要だと感じました。

ちこちで乱れ飛ぶ激しい展開になりました。そして順位がかかった大会終盤にはあちこちで雄叫びやら悲鳴やらが聞こえ、これまでにない盛り上がりのうちに大会を終える事ができました。

当分館では数少ない親睦行事ですが、今後とも参加頂いた方に楽しいひとときを過ごしていただけるような行事の運営を心がけていきたいと思いました。

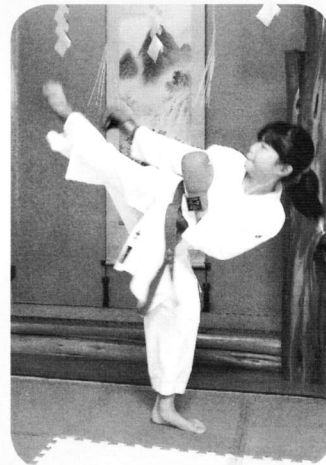
わたしの作文 ぼくの作文



全少めざし練習

小5 今川幸乃^{ゆきの}(3区)

私が今がんばっていることは空手で、特に組手です。きっかけは、空手教室を見学して、みんな楽しそうに組手をしていたので、やり始めました。今年の県大会で、形で3位、組手は4位でした。今回も全少に行けなかったの、次は2位以上に入って全少に行きた



いです。もっと強くなるために、たくさん練習をして、自分の弱点を克服したいです。そして、たくさんメダルをとったり、全少や選抜に出られるよう、毎日練習をがんばりたいです。

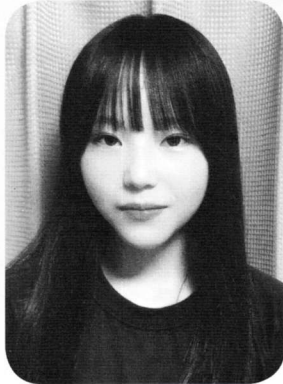
私の家族 私の目標

中3 花井沙織^{さおり}里(5区)

私の家は、父母、兄2人、姉3人、妹1人と私の9人家族です。

お母さんは中国からお嫁に来て、言葉もままならない中で、私達を産んで育ててくれました。それなのに私は両親に心配ばかりかけてきました。

今、私は目標としている高校をめざしてがんばっています。入試まではあと6



か月くらいしかありませんが、これまで支えてくれた人達のためにも、そして何よりも、自分自身の成長のためにがんばりたいと思っています。両親に笑顔で報告できれば、一番の親孝行だと思います。

生まれ変わる 下市田保育園

大規模改修進む

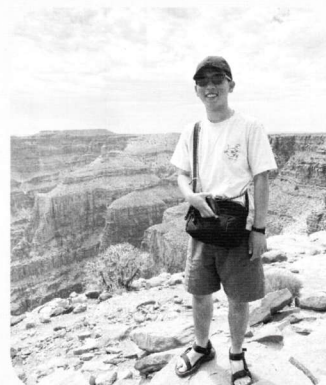
下市田保育園の大規模改修工事が来年2月ごろの完成を目指して急ピッチで進められています。

同園は今年で築44年になり、給食室が現行基準に合わなくなっていたほか、老朽化が進み、耐震性の強化、冷暖房の整備など、時代に合った保育環境の改善が急務になっていました。

Speak in English

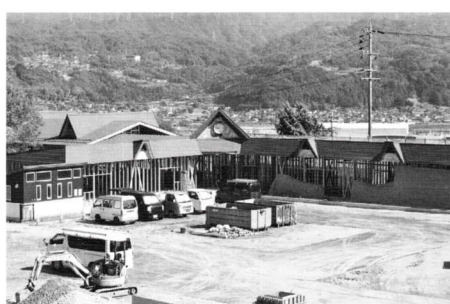
中2 熊谷伊織^{いおり}(4区)

僕は英語に興味がある。今年の夏、ある縁があったて、アメリカへ行った。アメリカではもちろん英語が飛び交っている。その中で2週間生活したことで、英語にもっと興味を持つようになった。僕の知り合いにすごい人がいる。その方はアメリカで消防士、救急救命士、メジャーリーグの通訳をやっ



ていた。週に1回、その方に英語を教わり、貴重な体験をさせていただいている。これから学校の英語の授業やそのレッスンを頑張りたい。英語を話せるようになりたい。

今回の改修では元の建物の基礎、柱、屋根は生かしながら、木造部の耐震補強、一部増築を伴う間取りの変更と内外装工事を行います。給食室とトイレの乾式化、エアコン更新と床暖房設置、断熱材と二重ガラス窓の設置、照明LED化、太陽光発電設備の設置などを行い、あわせて園庭や外構、遊具も整備します。



来春完成めざし工事は急ピッチ

工事は7月から始まって順調に進み、9月から本格的に内外装と外構の工事に着手しました。

民生児童委員の活動通じて学ぶ

鈴木信孝(1区)

民生児童委員になって6年目となります。この間に多くの機会に恵まれ学ぶことが出来ました。

あったかてらすでの幼児3か月検診では、赤ちゃんを抱く若いお母さんの暖かなまな差しに心を打たれる思いがします。各保育園での一日保育や入卒園式、運動会、園児たちが飛びついてきて一緒に遊びました。小学校の音楽会、夏休み宿題サポートで児童の真剣な質問に回答がしどろもどろになったりし、児童の目の輝きに子どもであることの素晴らしさを感じました。中学校の授業参観では授業に出られない生徒が各クラスに多数いることに驚き、教頭先生方との懇談で、その対応に大変苦労されている、民生児童委員としてのどのような支援ができるのか悩まされました。

毎月の高齢者世帯訪問などでご苦労話を聴くとき、

自分が若かりし頃、親にいろんな質問をすると、その年になれば分かってくるのでしょうか教えてくれませんでした。80歳近くになってようやくその意味が理解できるこの頃です。

この活動を通じ多くのことを学ぶことができ感謝し、地域の方々に寄り添う中で少しでもお役に立てればと思っています。



下市田保育園の七夕飾り

猫たちに感謝

松下咲葵(6区)

我が家では3匹の猫を飼っています。私にとって日々過ごしている中で猫の存在はとても大きいのです。猫というのは不思議で、言葉を交わすことはできな



かわいい猫たち

いけど、自然と声をかけてしまします。朝起きたら「おはよう」と挨拶をしたり、見かける度に「かわいいね」と声をかけたり、用もないのに名前を呼んだりしています。私が出るときには玄関まで来てくれるので、「行ってくるね」と言ってお出します。帰ってきた時には、玄関まで走ってきてくれる姿が可愛くて疲れている時の癒しです。ペットと触れあうことで、人は落ち着きと癒しを感じ、リラックスした状態になると科学的に証明されています。また、ペットと話すことで発語が増えるため、認知症の予防や改善に期待できるとも言われています。私たち家族に良い影響をもたらしてくれている3匹の猫たちに感謝し、これからもたくさん可愛がってきたいです。

下市田の文化財 史談会写真展示

下市田史談会は9月29日、「萩の郷ふれあい広場(敬老祭)」にあわせ、区民会館で「下市田の文化財」の写真展を行いました。

同会は平成20年度、下市田支館の「写真で残そう萩の郷」事業に全面協力し、写真撮る文化財の選定と説明文の作成を担当。その成果を「萩の郷文化祭り」で披露しました。その後、

それらの写真を区民会館内に常設展示。さらに下市田区が「写真で残す萩の郷」という冊子として発行し、区内各戸に配布しました。

それから16年を経て、説明文が外れてなくなった写



地元の文化財に目を向けて

真が増えるなど不備が目立ってきたため、同会は今年度から常設展示の刷新に着手し、来年度にかけてより見やすい展示に変更していくことを計画しています。

29日の展示では、ふれあい広場の参加者などが多く訪れ、興味深そうに各区ごとにまとめられた文化財の写真に見入っていました。

探しています

区民会館にある「萩の郷」のバックナンバーを整理したところ、第17号(1990年5月発行)がわずかに1部しか残っていないことが分かりました。どこかに眠っていて不要なものがあれば、区の保存用にお譲りいただけると幸いです。

編集後記

昨年は夏祭りが復活、今年にはふれあい広場が復活。自治会や公民館の活動のあり方も見直しが進められる中、内容も実施方法も少しずつ改善できるよう模索を続けています。



認定こども園ばどま キッズソーラン



下市田保育園 ポンポン大きく振って



高森あかり保育園 親子一緒に

萩の郷夏祭り
今年も力を合わせ盛大に

下市田区の夏の一大イベント「萩の郷夏祭り」が7月27日、区民広場で開かれました。今年も子どもからお年寄りまで多くの区民で賑わいました。

午後から一時、激しい夕立が降りましたが、予定通り夕方からお楽しみコーナーが開店すると、すぐに人だかりができました。

紅華太鼓の呼び込み太鼓と、開会式をはさんで御柱木遣・喇叭で開演。認定こども園ばどま、下市田保育園に続き、初めて参加した高森あかり保育園は親子でダンスを披露。ちえりーキッズ、プチエンジェルの子どもたちも練習の成果を発揮して息の合った演技を見せました。柿樂会のみなさんのリードで盆踊りをし、最後はお楽しみ抽選会で締めくくりました。



ちえりーキッズ 息の合った演技



紅華太鼓 勇壮な響き



中学生ボランティアが柿丸くんに